

理科年間指導計画

第6学年

学習目標

- (1)生物の体のつくりと働き及び生物と環境とを関係付けながら調べ、見いだした問題を多面的に追求する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生物の体の働き及び生物と環境とのかかわりについての見方や考え方を養う。
- (2)水溶液、物の燃焼、電磁石の変化や働きをその要因と関係付けながら調べ、見いだした問題を多面的に追求したりものづくりをしたりする活動を通して、物の性質や働きについての見方や考え方を養う。
- (3)土地のつくりと変化の様子を自然災害などと関係付けながら調べ、見いだした問題を多面的に追求する活動を通して、土地のつくりと変化のきまりについての見方や考え方を養う。

授業の工夫

理科の学習は、自然の事物現象を対象にした問題解決活動であり、直接経験が重要であると考えます。さらに、テレビ、ビデオ、標本などの活用も必要であると考えます。また、ものづくりの活動は、児童が知的好奇心を高め、実感を伴った理解ができるようになるということから、有効な活動であると考えます。

年間授業計画

月	単元名	時数	
4	理科の広場 わたしたちの地球(1) 1.ものが燃えるとき	12	<p>【評価の観点】 【自然事象への関心・意欲・態度】 自然事象を意欲的に追求し、生命を尊重するとともに、見いだしたきまりを生活に当てはめてみようとする。</p> <p>【科学的な思考】 自然事象の変化とその要因との関係に問題を見だし、多面的に追求し、相互関係や規則性をとらえ、問題を解決する。</p> <p>【観察・実験の技能・表現】 問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に表現する。</p> <p>【自然事象についての知識・理解】 生物は互いに類似した体のつくりと働きをもち環境とかかわって生きていることや、物に外から条件を加えると物の性質や働きが変わること、土地のつくりと変化にはきまりがあることなどを理解している。</p>
5	2.ヒトや動物の体	10	
6	3.生物とかんきょう	11	
7	理科の広場 自然を守る取り組み	2	
9	4.水よう液の性質	12	
10	5.大地のようす (1)大地をさぐる	12	
11	6.大地のようす (2)大地の変化	6	
12	理科の広場 自然災害に備えよう	3	
1	7.電磁石のはたらき	10	
2	理科の広場 通信の変化とわたしたちの生活	7	
3	8.わたしたちの地球(2) 理科の広場 希望を持って未来へ	10	
年間授業時数		95	